



▲江岸寺を探検する参加者

歩いて学んで歴史を体感 ～棚底探検ウォーク～

10/25
倉岳

7月に国指定史跡になった棚底城跡や全国的にも珍しい防風石垣群などを巡る「棚底探検ウォーク」が10月25日に開催され、市内外から70人が参加しました。これは棚底地区振興会が、地元の史跡や歴史などを学ぶことにより、その良さを再発見してもらおうと実施しているもので、今年で4回目。参加者は、ボランティアガイドを努める高田尊徳さんの説明を聞きながら、江岸寺や六部塔のほか12カ所の史跡などを探検し、秋の棚底路を満喫しました。



Treasure Island Topics 宝島の話

ホタルが住む川をいつまでも ～肥後の水とみどりの愛護賞を受賞～

10/28
五和

城河原小学校(田中士郎校長・全児童51人)が10月28日、「平成21年度肥後の水とみどりの愛護賞」を受賞しました。

この賞は、水とみどりの資源保全に熱心に取り組み、着実な成果をあげている県内の団体や個人などに贈られるもの。同校は、川の環境学習として、地域住民らと連携して内野川の水質調査やホタルの観察を定期的実施。また、その調査結果を「ホタルフェスタ」で発表するなど、川の水質保全の大切さを訴える姿勢が高く評価されました。



▲受賞した同校の児童たち

みんなでつくろう安全・安心なまち ～有明町地域安全運動推進大会～

10/13
有明

10月13日、「有明町地域安全運動推進大会」が有明町民センターで開催され、各地区の防犯ボランティア団体や天草警察署員など150人が参加しました。大会では、同署員らによる振り込め詐欺の被害防止を呼びかける寸劇や、自転車の2重ロックなどの防犯に関する講話を実施。また、犯罪のない安全・安心なまちづくりの実現を参加者全員で宣言し、その後、青色回転灯を付けた車(通称・「青パト」)20台に乗り、地区内の防犯パトロールを行いました。



▲犯罪発生状況を説明する同署員



▲記念品を手に喜びの野中さんご家族

来館1万人目は野中さんご家族 ～天草文化交流館・来館者1万人突破～

10/31
本渡

天草の伝統工芸の製作体験講座などを行う天草文化交流館の来館者が10月31日、平成20年4月の開館以来1万人を突破しました。記念すべき1万人目は、本渡町にお住まいの野中文雄さんご家族。この日は玲奈さん(本渡南小6年)が作った陶器を見に訪れました。同館から記念品として、バラモン風や天草南蛮手まり、盾を贈呈。文雄さんは「こういうことは新聞記事ではよく見るが、まさか自分たちがなるとは思いもしなかった」と喜びを語っていました。



▲歌声を披露するたけしさん

生きることのすばらしさを学ぶ ～こころの講演会～

10/22
牛深

10月22日、市社会福祉協議会・牛深支所主催による「こころの講演会」が牛深中学校体育館で開催されました。講演会では、脳の障がいと闘いながら歌手活動を行う一ノ瀬たけしさんと、父親の純二さんが講師となり、たけしさんが病に倒れてから今日までに、家族で分かちあった苦しみや喜びなどが語られました。また、講演の一環として、たけしさんによる歌などが披露され、訪れた約420人の参加者は、心こもった歌声に聞き入っていました。

白秋らの足跡をたどる ～五足の靴ウォークラリー大会～

11/3
天草

11月3日、下田北の五足の靴文学遊歩道入口から下田南海浜公園までの4.7kmを歩く「五足の靴ウォークラリー大会」が開催され、秋晴れのもと市内外から160人が参加しました。これは、五足の靴文化の里づくり実行委員会が毎年行っているもので、今年で7回目。参加者は、コース途中の各チェックポイントでクイズやゲームに挑戦したり、展望所などから望む澄みきった天草西海岸の絶景を堪能しながら、さわやかな秋のひとつときを過ごしました。



▲下田南海浜公園に向け出発する参加者

待望のナースキャップで決意を新たに ～市立本渡看護専門学校・戴帽式～

10/23
本渡

10月23日、市立本渡看護専門学校で「戴帽式」が行われました。これは同校が、看護師をみざす学生に責任と自覚を促し、意識を高めることを目的に毎年実施しているもの。式典では、今年4月に入学した19期生38人が、教員から純白のナースキャップを付けてもらった後、キャンドルを手にナイチンゲール誓詞を斉唱。その後、学生を代表して園田隆史さんと萩田ひろみさんが誓いのことばを述べ、目標とする看護師への決意を新たにしていました。



▲キャンドルの明かりの中、誓詞を斉唱する看護学生